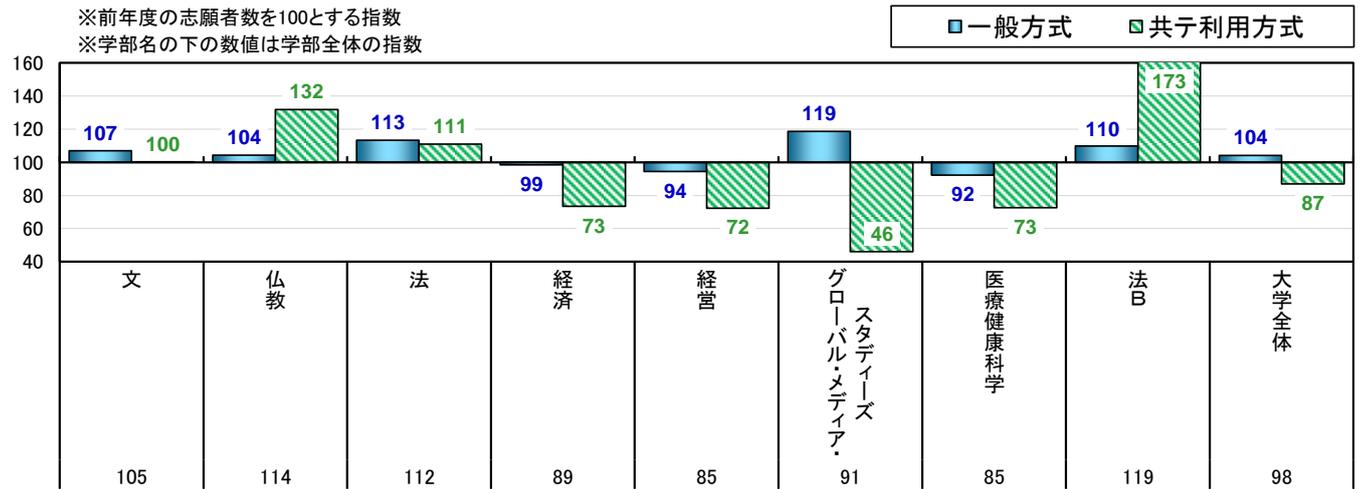


駒澤大：一般方式はやや増加、共テ利用は減少と対照的

一般：+763人 共テ：-1,464人



主な入試変更点

試験会場：全学部統一…東京、仙台、新潟、水戸、長野、高崎、宇都宮、立川、横浜、静岡、名古屋
→東京、札幌、仙台、新潟、つくば、長野、高崎、宇都宮、千葉、静岡、名古屋、大阪、福岡
選抜方法：グローバル・メディア・スタディーズ<一般・T方式(2月)><一般・S方式>…国+外+ (歴公 or 数) ※外に基準点を設ける
→国+外+ (歴公 or 数) ※国、外に基準点を設ける
文(社会/社会、地理) <一般・T方式(3月)>…廃止

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、701人(98)の前年度並。方式別では、一般方式は2年連続減少の反動で763人(104)のやや増加だった。一方で、共通テスト利用方式は大幅増加の反動で1,464人(87)の減少で、志願者数は2年ぶりに10,000人を下回った。

<一般方式>

- 文(107)は、増加だが3年連続減少の反動は小さく志願者数は7,000人を下回った。学科・専攻別では、特に(地理/地域環境研究)(128)、(社会/社会福祉)(125)、(英米文)(116)はいずれも大幅増加で、いずれも前年度大幅減少の反動。一方で、(地理/地域文化研究)(85)は大幅減少で2年連続減少。
- 法(113)は、増加で2年連続増加。学科別では、(政治)(120)は2年連続減少の反動で大幅増加、(法律/フレックスA)(111)は増加で2年連続増加。
- 経済(99)は、2年連続前年度並。学科別では、(商)(112)は3年連続減少の反動で増加。(経済)(102)は3年連続減少の反動は小さく前年度並に留まった。一方で、(現代応用経済)(64)は大幅減少、前年度の反動による大幅増減が継続。
- 経営(94)は、やや減少。志願者数は3,000人を下回った。学科別では、(市場戦略)(89)は減少で3年連続減少。(経営)(97)はやや減少で再び減少に転じた。
- グローバル・メディア・スタディーズ(119)は、大幅増加で2年連続増加。方式別では、<T方式(2月)>(145)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加。<S方式>(116)は、2年連続大幅増加。一方で、<T方式(3月)>(67)は3年連続大幅減少。
- 医療健康科学(92)は、2年連続減少。方式別では、<S方式>(203)は前年度大幅減少の反動で倍以上。一方で、<T方式(2月)>(62)は大幅減少で2年連続減少。

<共通テスト利用方式>

- 文(100)は、前年度並。学部・専攻別では、(社会/社会福祉)(156)は、前年度大幅減少の反動で50%以上の大幅増加。(地理/地域環境研究)(124)も大幅増加で2年連続増加。一方で、(英米文)(80)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 法(111)は、前年度大幅増加の反動はなく、さらに増加で2年連続増加。学科別では、(政治)(131)は2年連続大幅増加。(法律/フレックスA)(99)は前年度大幅増加の反動はなく前年度並。
- 経済(73)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少、志願者数は2,000人を下回った。学科別では、(現代応用経済)(104)は前年度大幅増加に引き続きやや増加。一方で、(商)(51)はほぼ半減。(経済)(87)も前年度大幅増加の反動で減少。
- 経営(72)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別でも、(経営)(65)は大幅減少、(市場戦略)(92)は減少でいずれも前年度の反動。
- グローバル・メディア・スタディーズ(46)は、前年度ほぼ倍増だった反動で半減以下。前年度の反動による大幅増減が継続。
- 医療健康科学(73)は、前年度5年ぶりに増加に転じたが、大幅減少で再び減少に転じた。